教職員の皆様へ
教育センターだより【６号】
令和７年９月４日　発行

５１８－０４８５
三重県名張市百合が丘西５番町２５番地　教育支援センター(さくら教室)　２F
Tel 0595-63-7830
Fax 0595-64-8802
事務室・教育よろず相談　１F　E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp
Tel 0595-64-8801　Fax 0595-64-8802
E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.lg.jp　学校ボランティア室　１F
minakuru01@nabari-mie.ed.jp　Tel 0595-64-8864
Fax 0595-64-8802
ホームページ　http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/
教育センターホームページ二次元コード

令和7年度　名張市教育センター　夏季研修講座報告

夏季休業中に教育講演会を含め、１６の研修講座（自主研修講座を除く）を実施することができました。熱心に学び続ける先生方の姿がとても印象的でした。２学期からの取組にぜひ繋げてください。

スキルアップ・授業改善への１歩に～研修講座から学ぶ～

「教育講演会」（８／６）米田　薫　大阪成蹊大学教育学部　教授

不登校支援をテーマに子ども視点で考えた指導・支援方法、またソーシャルスキルトレーニングをペアでのロールプレイやグループでの意見交流なども取り入れながら講演していただきました。学校現場、子どもたちを対象としても活用できるものもあり、２学期以降の指導・支援に活かしていけるものばかりでした。そして、分かりやすい説明だけでなく、時に笑顔になれるようなお話も入れていただき、充実だけでなく、大変楽しい２時間となりました。「相手の身になる努力をする」→「一緒に考える」→「大人としての自分を打ち出す」という３つの手立てや子どもたちの気持ちに配慮した言葉がけの工夫など、私たち教員にとって必要なスキルも学ばせていただきました。

「情報教育」（７／２５）
後藤すみれ　株式会社 Loilo

ロイロノートの既存の機能だけでなく新機能を使って体験しながら学んでいく研修となりました。特にクイズ形式の題材や、シンキングツールの活用については、即実践でき、子どもたちの興味関心を引くものばかりでした。また、グループワークを取り入れ、ゲーム形式の取組なども実際に体験させてもらいました。協働的で深い学びを実現するため、タブレットを通した対話活動の手助けとなるものでした。

「図工・美術」（７／２８）
的場　秀典　梅が丘小学校教頭

本研修は作品に対して、技術だけでなく発想力・思考力が求められるものでした。完成後の用途を見据えることにより、そのプロセスがさらに充実することを学べました。さらに材料として、安価で用意できるもの、自然にあるものなど、身近に用意できるもので活用されていました。思考力はどの教科にも必要不可欠となっています。そのような力を、工作の視点から考えることができた研修でした。

「学級づくり」（７／２９）
白鷹　直樹　学校教育室指導主事

「生徒指導提要をもとにした学級づくり」をテーマに生徒指導の観点からお話していただきました。生徒指導と考えてしまうと苦手意識や身構えてしまう部分があるかもしれませんが、生徒指導とは、すべての活動において含まれているものであり、子どもたちの学校生活をより良くするために支えていくものです。また、学校として組織的に見通しをもって子どもたちに関わる重要性もお話していただいた研修となりました。

「書写」（７／３１）
福村　俊夫　桔梗が丘小学校講師
岩森　進　　桔梗が丘東小学校非常勤講師

書写の基本的な知識や技術についてご指導していただきました。一つひとつ丁寧に意識することで一つの字がとてもきれいになることを実際に感じることができました。後半では書写の概念にとらわれないような、絵の具を用いた作品づくりを体験させていただきました。他の教科においても基礎・基本を大事にし、その技能を応用することでさらに素敵な作品（結果）につながることを書写の角度から伝えていただきました。

「人権・同和教育」（８／１）

上森　健史・坂本　悠

男女共同参画推進室人権教育主事

一ノ井児童館職員

「名張市の人権・同和教育の取組から学ぶ」をテーマとして上森さん・坂本さんに、受講者の先生方からヒアリングした内容も含むお話をしていただきました。その後、グループ別に分かれて児童館職員の方たちと共に「私と部落差別」について対話活動をしました。お話をしていただいたことはもちろん、児童館職員の方、そして多くの先生方との出会いが本当に貴重なものになった研修でした。

「教育相談」（８／４）

木村　敦裕　公認心理師　臨床心理士

不登校児童生徒とその保護者に焦点をあてた「子どもと保護者の対応について」をテーマとしてお話をいただきました。また、後半は当日受講した先生方からヒアリングをした困りごとについて、ご助言をいただきました。現場の教員の支援に寄り添い、背負っているものを軽くしていただけるようなお話ばかりでした。また、様々な視点の考え方や手立てを紹介していただき、２学期から実践できるものばかりでした。

「外国語」（８／５）

庄山　大樹　三重大学教育学部附属中学校教諭

井上　大　　三重大学教育学部附属小学校教諭

生成 AI を活用した授業づくりや、SmallTalk など子どもたちに「必然性」をもたせるために、単元のゴールを設定して目的、場面、状況を授業者がもっておくことの大切さを学びました。また、言語活動の際、中間指導において AI を活用できれば全ての生徒に即時にフィードバックができるため、外国語以外の授業においても活用できる内容でした。

「特別支援教育」（８／５）

松久　眞実　桃山学院大学　教授

特性のある子どもに対しての理解や手立て、支援などの実例を、分かりやすく紹介していただき、講演していただきました。

また、SST の方法や子どもにどのように声をかけるかなど、ペアワークも取り入れた活動も入れていただきました。受講された先生方も発表の機会があり、そのことについてのコメントもその都度いただき、大変現場の先生方に寄り添っていただいた研修となりました。

「国語」（８／７）

森川　正樹　関西学院初等部　教諭

国語の教材を通して、様々な手法や子どもたちがわくわくするような問題提起の方法など具体的に学ばせていただきました。また、子どもの意見に対して授業者が復唱することで発話数が減ってしまうこと、対話とはどういうものかなど、今の名張市の教育課題解決に向けて取り組むことができるものばかりでした。「出会いの感想カード」について多くの先生方が感銘を受け、実践されている先生方も多く、このような教材を市内に広げていきたいと思えました。

「体育実技講習会」（８／８）

山本　敏之　鈴鹿市立庄野小学校教頭

継続して取り組む運動、また持久力向上のための知識・取組を実践しながら学ばせていただきました。ラダーでの準備運動においては音楽とミックスすることで楽しくリズムに乗って取り組めるだけでなく、どのような方法で跳ぶかをグループで考え対話のある活動となることを実感することができました。また、身近にある新聞紙などを用いた活動も紹介していただき、遊び心を持ちながら技能習得をする方法など、大人も子どもも「またやりたい、もっとやりたい」と思えるものばかりでした。

「理科」（８／１８）
杉野　薫　比奈知小学校非常勤講師

教科書に記載されている既習事項に対して「なんで？」という疑問を見つけ、そのことに対して論理的に説明していただきました。また、ペットボトルロケットや空気砲など、見たことはあるものの実際に授業で扱ってなかったものを実際に体験しながら、その仕組みや指導方法を学ばせていただきました。子どもたちが興味、関心をもって、おどろきの結果が出るような魅力のある実験をたくさん紹介していただきました。

「不登校」（８／１９）
渡邉　賢二　皇學館大學教授

不登校の子どもの理解と支援、心理教育を用いた支援、保護者を対象としたお話をしていただきました。
不登校傾向にある子どもの特徴、その子どもたちに向けて、個々の支援方法、そして対応の際の留意点など、学校現場で悩まれていることについて学ばせていただきました。そして、不登校への初期対応、長期欠席になった場合の対応、予防対応など心理教育などを通した取組や活動についても紹介していただきました。

「図書館教育」（８／２１）
木村　由美子　JPIC 読書アドバイザー

読み聞かせについて専門的な視点から深い内容までお話していただきました。教師からの読み聞かせが子どもたちにとっては、ある種特別に感じることや、言葉をストックする事によって知識や見解を広げるだけでなく様々な非認知能力を高める効果があることなどを学ばせていただきました。また、実際に読み聞かせを音楽とともに実演していただく中で、物語に吸い込まれ、感情を揺さぶられました。対象が高学年になろうとこのような読み聞かせの習慣は継続していくことが大切になってくると思います。

「算数・数学」（８／２２）
森本　隆史　筑波大学附属小学校教諭

算数・数学の問題を題材として、出題の方法や声掛けなど、同じ発問においても子どもたちの好奇心や探究心をくすぐり、さらに知識を広げていくことができる手立てを学ばせていただきました。また、教師があえて間違えた方法を提示することにより、疑問をもたせ、子どもたち主体で正解にたどり着くような授業の進め方など、教師と子どもが一体となり、対子どもたち同士も対話のある授業づくりについて、たくさん紹介していただきました。

「なばり学」（８／２５）
門田了三　郷土資料館職員
谷戸　実
教育センター地域学校協働本部チーフコーディネーター

ふるさと学習「なばり学」学習資料集に掲載されている場所を訪問し、「なばり学」に関する施設や名所、歴史について学ぶことができました。実際に見学することで、さらに名張市やふるさと学習「なばり学」への興味関心が深まるとともに、さらに学んでいきたいという意欲にもつなげることができました。施設訪問や門田先生、谷戸先生の説明を聞かせてもらう中で、市内に居ながらも知らなかったことも多く、大変勉強になる研修となりました。

今後の研修予定

若手教員スキルアップ研修講座

研修名	講師名	日時	場所
「特別支援教育②」	三村　まゆみ 名張市教育センター特別支援教育アドバイザー	11 月 14 日(金) 15:50～16:50	教育センター 大研修室
「不登校対応」	今出　和美、川浪　良充 教育支援センター相談員	11 月 6 日(木) 15:50～16:50	教育センター 大研修室

課題研修講座

研修名	講師名	日時	場所
SST（仮）	齋藤　美穂 スクールソーシャルワーカー	10 月 23 日(木) 15:50～16:50	教育センター 大研修室
幼児教育「夢中になって遊ぶ姿」を目指した運動遊び	加納　岳拓 三重大学准教授	11 月 13 日(木) 16:45～18:00	教育センター 大研修室

職務研修講座

研修名	講師名	日時	場所
マスター・ベーシック研修 「学校経営・マネジメント」	栢森　和重 名張市教育委員会事務局 文化生涯学習室社会教育指導員 前つつじが丘小学校長 元三重大学大学院教授	9 月 6 日(土) 9:00～11:00	教育センター 大研修室他
マスター・ベーシック研修 「中央研修還流報告」	但馬　淑夫　百合が丘小学校長 藤井　翔太　名張中学校　教諭	11 月 1 日(土) 9:00～11:00	教育センター 大研修室他

自主研修講座

研修名	講師名	日時	場所
若手教員のつどい	福島　茂樹 名張市教育センター職員	10 月 6 日(月) 16:30～17:30	教育センター サイエンスルーム
		2 月 12 日(木) 16:30～17:30	教育センター サイエンスルーム
ICT 活用講座「Canva 入門」	向山　明佳 三重県立名張青峰高等学校 教諭	10 月 20 日(月) 16:30～17:30	名張青峰高等学校 第 1 アクティブラーニングラボ
通級指導教室	三村　まゆみ 名張市教育センター特別支援教育アドバイザー	調整中	
シンキングツール 「シンキングツール導入・説明」	大垣内　清広 名張市立美旗小学校 指導教諭	9 月 16 日(火) 16:30～17:30	教育センター サイエンスルーム
シンキングツール 「シンキングツールの交流（実践例紹介）」		11 月 25 日(火) 16:30～17:30	
ケースカンファレンス 「事例検討」	山田　忍 臨床心理士	10 月 3 日(金) 16:30～18:00	教育センター 多目的ルーム
		12 月 5 日(金) 16:30～18:00	
俳句 「俳句のつくり方・指導方法」	森永　侑樹 名張市立名張小学校　教諭	9 月 29 日(月) 16:30～17:30	教育センター サイエンスルーム
俳句「俳句の交流」		12 月 8 日(月) 16:30～17:30	